

平成 24 年第 8 回加西市教育委員会会議録

1. 開会日時 平成 24 年 8 月 24 日（金） 13 時 30 分
2. 閉会日時 同 日 14 時 50 分
3. 開催場所 加西市役所 1 階多目的ホール
4. 出席委員 委 員 長 荒 木 貴 子
委 員 渡 邊 隆 信
委 員 内 藤 堯 雄
教 育 長 永 田 岳 巳
5. 委員及び傍聴人を除き、会場に出席した者の氏名
教育次長 大 西 司
市参事兼こども未来課長 立 花 聡
学校教育課長 小 林 剛
文化スポーツ課長 深 江 克 尚
総合教育センター所長 柿 本 博 司
図書館長 村 岡 敏 弘
教育総務課長 中 倉 建 男
教育総務課課長補佐 高 井 聡 子
6. 付議事項
なし
7. 議題となった動議を提出した者の氏名
なし
8. 質問及び討議の内容
なし
9. 議決事項
なし

10. 報告事項

(1) 教育長の報告

教育長より、7月24日に加古川で開催された、第1回播磨東地区教育長会議について報告をする。その内容としては、諸問題について、県教育委員会の見解や各地教委の取組状況の報告等が行われ、詳細としては、高校の新通学区域の実施に向けた諸準備と保護者の状況の報告、学力向上についての取組状況、武道の必須化への取組、管理職の育成の状況、いじめ問題の対応について等であったことを説明する。

次に、8月7日に行われたスクールミーティングについて報告する。以前に行われていた「加西っ子議会」に代わるものであり、市内各中学校の代表生徒12名が出席し、市長、副市長、教育長と話し合いや意見交換を行ったもので、トライやる・ウィークの感想や成果、通学路の状況、登下校のマナー、北条中学校の自転車通学、耐震をはじめ学習環境の整備、その他の話題等を話し合ったと説明する。生徒達は、将来の加西市を担う自覚を持っているように感じられるが、周囲に惑わされず、いろいろな経験を積んで自分自身の意見を持てるようにという助言をしたことを説明する。さらに、市長から、今後も継続的に実施したい意向があったことを報告する。

続いて、いじめ問題については、8月6日に総務委員会があり、事務局や学校の対応について学校教育課長から報告をし、さらに、8月30日には市内小・中・特別支援学校より校長、教頭、主幹教諭、生徒指導担当教諭等を集めて話し合いの場を持つ予定であることを報告する。

(2) 教育総務課長の報告

教育総務課長より、教育施設耐震化工事等進捗状況について、現在の状況を報告する。宇仁小学校地震改築工事設計委託は、積算業務に入り、北条中学校体育館耐震補強工事は、建具工事の施工中で20%、日吉小学校体育館耐震補強工事は、屋根面の補強と内装工事の施工中で45%の出来高である。(仮称)加西市立北条学校給食センター建設工事設計委託は、基本的な厨房機器を決定し、基本設計を進めている、泉・善防中学校耐補強工事設計については、現況調査が終わり改修計画図面の作成中であることを説明する。

次に、情報公開について、市民より、日吉保育所と幼稚園、北条西保育所と北条幼稚園、北条南保育所と北条東幼稚園の各年齢別児童数と職員数、教育委員の小学校校区別の委員名及び過去に教育委員長をして教育委員に選任された方の氏名、さらに、各小学校11校の学年別学級数及び児童数並びに学年別職員数について情報公開請求があり情報公開を行った。また、市民より、アステシアかさい内の加西市立図書館にかかる床買い上げ費用、加西市とアステシアかさい管理組合及び(株)加西北条都市開発で締結されている契約等に関する書類一式(図書館分)、加西市がアステシアかさい管理組合及び(株)加西北条都市開発に支出している

負担金について情報公開請求があり、情報部分公開を行ったことを報告する。

次に、平成23年度加西市教育委員会評価について、本日付で市長及び議会に教育委員会点検評価報告書を提出していることを報告する。評価委員の評価結果としては、7項目の重点目標のうち、1から6項目までが概ね妥当で項目7がやや不適の評価となっており、総合コメントでは、評価が難易度と達成度のマトリックス表記でわかりやすくなっているが、その難易度については内部基準が必要である、また、今後は市長部局との意見調整などをしてほしいとの意見があったことを報告する。

(3) 学校教育課長の報告

学校教育課長より、夏季休業中の児童生徒の生活について、夏季休業に入ってから現時点まで、学校教育課への保護者からのいじめ問題の相談件数は0件ではあるが、どの学校でも、どの子にもいじめは起こり得るという観点からも安心はできないと考えており、定例校長会、教頭会を含め、観察やサインを見逃さないという指導の徹底の周知をしていることを報告する。また、9月15日に中学校で体育大会が、22日に小学校で運動会が開催されることに伴い、各教育委員の参加をお願いする。

次に、小学校、特別支援学校における通学路合同調査の実施について、通学路における交通事故等による死亡者の発生に伴い、文部科学省・国土交通省・警察庁から、全国の通学路における安全確保に関する緊急調査の要請があり、8月8日・9日に、市教育委員会・各学校長・県加東土木事務所・加西警察署・市土木課の計8名が各校2か所ずつの合同点検を実施したものであることを報告する。これは、市が各校区300万円の緊急補正予算をおいているものとは別の趣旨の調査であるが、改善箇所が重複している部分もあることや、今回の目的は、安全確保ができていくかという確認のための合同立ち合い調査であることを説明する。

(4) 文化スポーツ課長の報告

文化スポーツ課長より、第27回東・北播磨学ぶ高齢者のつどいについて、9月28日に市民会館文化ホール及びコミュニティセンターで開催するもので、内容は、高齢者の主張大会として、加古川市他の4名により「学びと生きがい」をテーマに発表いただき、作品展は、11市町と嬉野台で学ばれている高齢者の方の作品、計221点が2日間展示されているものであると報告する。

続いて、文化財サポーターの活動について、平成23年度より埋蔵文化財整理室を拠点として、市民協働による歴史文化遺産の活用・継承を推進していくための取組で、市民の生涯学習の場となることと埋蔵文化財整理室を活用することを目的として作ったもので、平成23年度は応募者2名であったが、平成24年度は「石棺仏と石」を活動テーマに10名の応募者があり、様々な活動を行っていただいていることを報告する。

次に、加西市体育施設の設置及び管理運営に関する条例の一部を改正する条例の制定につ

いて、条例改正議案を9月議会に上程しているもので、加西南産業団地内に「加西南テニスコート」と「多目的広場」、「ゲートボール場」という施設があり、指定管理により市民に活用いただいているが、従前はテニスコートのみを体育施設として条例に定義しており、平成24年度公共施設予約システムの更新にあわせ、設置及び管理運営に関する条例上の定義をするものであることを報告する。また、体育施設の利用時間が11月から3月までは午後9時までとなっていたが、利用者の要望により、通年10時までの利用に改正するものであると説明する。

さらに、加西市生涯学習・社会教育行政推進計画について、昨年度に社会教育委員会から答申の出た生涯学習・社会教育推進計画ビジョンの策定に付随した推進計画で、社会教育委員会で入念な審議ののち、今回最終版として作成したものであることを報告する。

(5) 総合教育センター所長の報告

総合教育センター所長より、総合教育センター運営委員会について、8月3日に第1回運営委員会を開催したもので、報告事項として、平成24年度の事業概要や各事業の報告、市内青少年の現状と課題等を、協議事項として、総合教育センターの業務の効率化について等を、また質問および討議として、研修講座や教育相談についての討議があったことを報告する。

次に、教育相談受理状況について、7月末現在の相談件数等を報告し、特徴的傾向としては相談件数が年々増加しており、その要因としては相談窓口の周知徹底や夜間の相談を設けたこと等があることを報告する。

(6) 図書館長の報告

図書館長より、「ふしぎ科学実験ショー」について、毎年恒例の夏休みキッズイベント「科学実験」を、市制45周年記念事業として参加料無料で「てづくりプラネタリウムと3D映像」と題して8月4日に開催し、講師に高砂市立の小学校主幹教諭である高田氏を招き、150名の参加者があり盛況であったことを報告する。

次に、「加西市史特別講演会」（2回目）について、9月15日に図書館オープンミュージアムで、加西市史編纂委員長の福永文夫氏を招いて、「戦中ノ統制ト復興ノ光」と題して講演を行っていただくものであると報告する。

11. 協議事項

報告事項の中から

○図書館の運営について

教育委員より、図書館の運営について、知人である他市の教員から、加西市の図書館は在館しやすく、勉強がしやすい、またさまざまなイベントがあるのは良いことであると評価されたことを述べる。

○加西市生涯学習・社会教育行政推進計画について

教育委員より、加西市生涯学習・社会教育行政推進計画について、細かな数値目標まで入っているが、範囲が広く、こども未来課や学校教育課の範疇までであるが、課どうしの連携を持ったうえでの数値かとの質問があり、文化スポーツ課長より、数値目標については、社会教育委員の協議のなかで数値を記入すべきとの意見があったためであり、また、事前に各課に調整はしていると回答する。さらに教育委員より、予算についても協議しているかと質問があり、文化スポーツ課長より、財政課への協議まではしていないが、新たな新規予算が必要な範囲で設定される数値ではないと回答する。教育委員より、実現できるようにしてほしいと意見がある。

○播磨東地区全市町教育長会議の内容について

教育委員より、播磨東地区全市町教育長会議の内容で、武道を事故なく行うための努力をされているとあったが、具体的な取組内容と武道の種類、近隣での事故報告について質問があり、教育長から、共通している点として指導力の向上のための教員研修の充実であることと、武道の種類としては剣道・柔道が主であり、柔道では指導内容に関して工夫もされていると、近隣で大きな事故は報告されていないと説明する。

○平成23年度加西市教育委員会評価について

教育委員より、加西市教育委員会点検評価報告書について、先日出席した評価委員会での意見がまとめられており、結果を真摯に受け止め、次回につなげていきたいと述べる。

○小学校・特別支援学校における通学路合同調査の実施について

教育委員より、通学路合同調査について、今の時点では調査を行うという段階であるが、今後前に進むという可能性はあるかとの質問があり、学校教育課長から、私有地の用地買収を伴う箇所については、引き続き担当で対応していく方針であり、また、11月には今後の見通しで進捗できるかを確認するための会合を持つ予定であると回答する。

○加西市体育施設の設置及び管理運営に関する条例の一部を改正する条例の制定について

教育委員より、加西南多目的広場・加西南ゲートボール場は、現在指定管理されていて、今回条例に明記するという事か、また、他にそのような箇所はあるかとの質問があり、文化スポーツ課長から、指定管理されているが、これまで加西南テニスコートに付随した施設として扱われていたが、予約システムに各名称で予約できるようにするとともに設置管理条例にあげるものである、さらに、同様の状況の施設は体育施設ではないと回答する。

○教育相談受理状況について

教育委員より、相談時間が増えたということで相談件数が増えてきていると思われるが、窓口が広がったということで良いことではないかと意見がある。

12. 教育委員の提案

教育委員より、加西市教育委員会評価のなかで、重点目標2の評価委員評価に、「学級編成の問題は学校教育の部分では基本的な要素であり、本年度より実施された、学級編成の自由化等への事前準備や取組がない。」とあるが、県や国の方針ではなく、市で少ない人数で編成できるということであると思うが、今後、加西市として考えていっても良いのではないかとの意見がある。さらに、兵庫県の基準では小学校4年生までが35人学級で、国の基準は1・2年生が35人学級になっているが、加西市独自に小学校5・6年生を35人学級にするなどの特色ある編成ができるかとの質問があり、学校教育課長より、現在、義務標準法にのっとって教員配当をしているが、今後、市独自で決定事項として統廃合を行わない、小学校は独立型で市単独の人員費を施策するとなると、現在の5・6年生は新学習システムで非常勤教諭や生活支援教諭の配当・生徒指導加配があったりするものが、県の予算配当から市が独立型とみられ、県が配当を見送るという立場となる懸念があり、どちらが良いのかという研究は必要があると回答する。教育委員より、簡単に答えは出ないと思うが研究をしてほしいとの要望がある。

13. 今後の予定について

- ・第9回定例教育委員会 9月20日（木） 13:30～ 5階会議室(大)
- ・第10回定例教育委員会 10月23日（火） 13:30～ 5階会議室(大)

この会議録は、事務局職員が作成したものであるが、真正であることを認めここに署名する。

平成24年8月24日

出席委員

(出席委員署名)